

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員の「理念」の理解が出来ているとは言いがたく、今後は、理解と実践に向けて努力していく。	各棟で、努力目標を構築する。	「理念」の唱和を行ない、職員間での意見、提案等を出し合い、目標達成の意識を高める。	3ヶ月
2	10	毎月、配布の「やすらぎ便り」にてホーム内の行事の様子等を提供しているが、特にご意見やご要望などが無い。	家族や地域の意見等を取り入れる。	面会時や訪問時に、声掛け等を行い、積極的に意見交換を行いながら、充実した内容の物にしていく。	3ヶ月
3	36	入居者様への、尊厳、尊重への配慮不足。	お一人、お一人に対する尊重の念を再度、認識し自覚する事。	馴れ合いの言葉を自重し、呼称に配慮した態度で接しながら、笑顔や受容等の技術向上を行なっていく。	1ヶ月
4	48	レベルの低下に伴い、役割や楽しみ事が減少している。	残存能力の活性化。	各人の残存能力の再度、着目して「出来る事」は時間がかかっても係わってもらい、日常生活の質の低下防止を行なう。	3ヶ月
5	13	介護職員の質向上が図れていない。	「認知症」に対する、知識、技術の向上。	研修時間の確保が困難な為、回覧や月1回の全体会議を有意義に使い、各人の意識を高め、書面での意見や質問等の提出を行なうなどして、現実的に改善していく。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。